

富国強兵と殖産興業（2）

江戸時代の貨幣は、東日本で計数貨幣の金遣い、西日本で秤量貨幣の銀遣いと分かれ、統一的な価値尺度が生成されなかった。明治時代、殖産興業の推進の前提として、これら貨幣の統一は不可欠の重要性をもった。しかし、財源に乏しい新政府は、貨幣制度改革を一举に達成できず、失敗をしながら漸次進めることになった。

○貨幣制度改革

●不安定な不換紙幣

当初の新政府は、財源に乏しく、商人から臨時負担金である御用金を徴発した。

→1868年、由利公正の立案で最初の政府紙幣⁽¹⁾ _____ が、

次いで1869年、民部省札が発行された。

⇒(1)・民部省札は、金銀との引換え（兌換）^{だかん}ができない紙幣⁽²⁾ _____ で、増刷のたびに人々からの信用を失い、価値が下落した。

◇(1)・民部省札…貨幣単位は、江戸時代と同じく「両・分・朱」を使用



図1 太政官札



図2 民部省札

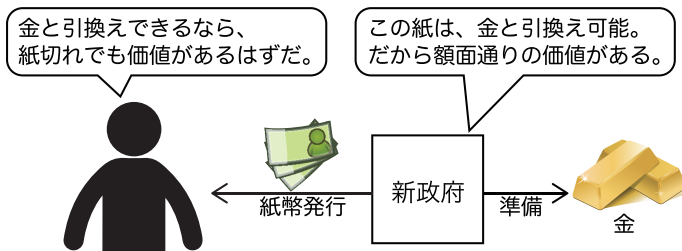


図3 兌換紙幣（この図は金本位制）

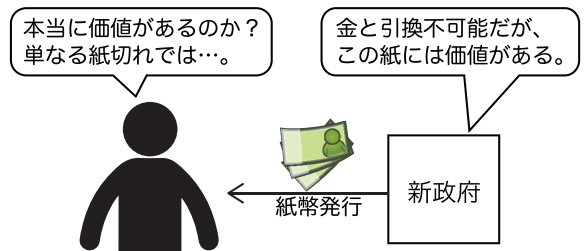


図4 不換紙幣

●金本位制の確立推進と失敗

江戸時代、金貨は「金1両＝4分」「1分＝4朱」と、4で位が1つ進んだ。

⇒また、金貨・銀貨の交換は「金1両＝銀50匁^{もんめ}」と繁雑で、外国人から嫌がられた。

1871年、⁽³⁾ _____

…「1⁽⁴⁾ _____ = 100⁽⁵⁾ _____」「1⁽⁶⁾ _____ = 10⁽⁷⁾ _____」と、

10進法で位を進める新たな貨幣単位を設定し、「1両＝1円」として旧単位を廃止

…純金1.5gを含有する1円金貨を鑄造し、

貨幣への信用を「金」の希少価値で支える⁽⁸⁾ _____ を採用（図5）

しかし、新政府の純金の保有量は少なく、1円金貨の不足を1円銀貨の鑄造で補った（図6）。

→従って、貨幣への信用を「金」「銀」の希少価値で支える金銀複本位となった。

⇒加えて、人々は金貨の使用を惜しみ、貿易では銀貨、国内では紙幣が主に使用された。

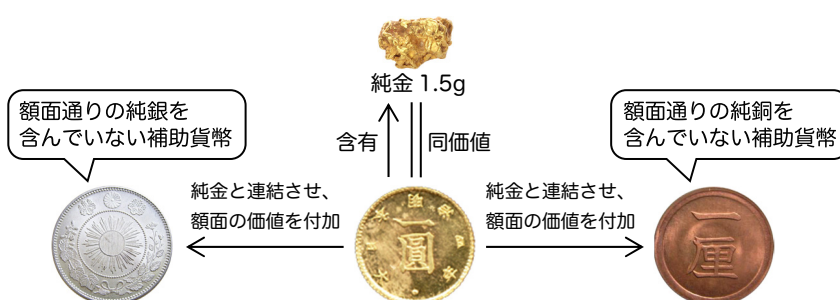


図5 金本位（左：50 錢銀貨／中：1 円金貨／右：1 厘銅貨）

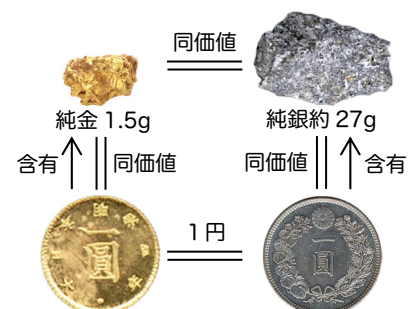


図6 1 円銀貨の鑄造

○ 国立銀行の開業

● 兌換紙幣の発行

太政官札・民部省札は、旧単位で発行され、また、不換紙幣で信用を失いやすかった。
→新単位で、金銀との引換え（兌換）ができる紙幣⁽⁹⁾ _____ の発行が必要となった。
⇒しかし、新政府の純金・純銀の保有量は少なく、仮に発行しても引換えができない（図8）。

- ↓
- 1872 年、⁽¹⁰⁾ _____
- …不換紙幣の回収整理のために、⁽¹¹⁾ _____ が起草した条例
- …純金・純銀を保有する有力商人に、⁽¹²⁾ _____ を 4 行開業させて、
（9）である兌換銀行券の発行と、兌換銀行券と金貨との引換えを義務化
- ◇(11) …⁽¹³⁾ _____ を創立し、その初代の代表者
- ◇(12) …「National Bank」の直訳で、「国法の（10）で立てられた民間銀行」の意
…兌換銀行券の発行以外に、預金・貸付をおこなって利益を獲得
- ◇政府と組んで富を得た三井や岩崎（三菱）などの有力商人を⁽¹⁴⁾ _____ と呼称



図7 渋沢栄一

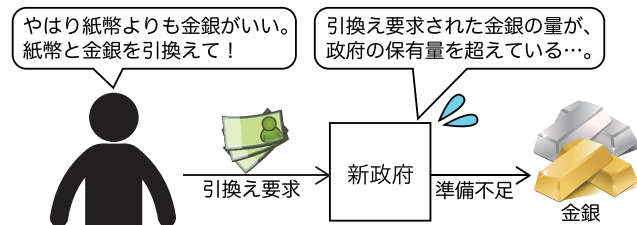


図8 金準備の不足・銀準備の不足

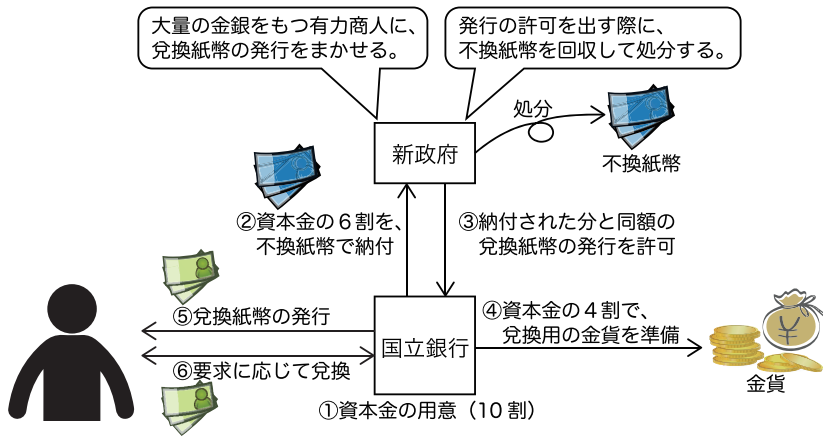


図9 国立銀行条例（資本金：開業時の運営資金）



候可相拾とた何はミ持幣此
也申渡圓もり時を入泰於紙

「この紙幣を持参の人へは何時たりとも
10 円相渡可申候形」と、兌換の旨を記載

図10 兌換銀行券（10 円券）

● 兌換義務の廃止と紙幣価値の下落

次第に国立銀行の保有する金貨が底をつき、経営不振に陥った。

- ↓
- 1876 年、⁽¹⁵⁾ _____ 改正
- …国立銀行の「紙幣と金貨との引換え義務」を廃止
- …国立銀行に不換紙幣の発行を許可
- …国立銀行の自由な開業を許可

↓

華族・士族が、金禄公債証書を元手に、国立銀行を次々と開業した。

⇒これらの国立銀行が、不換紙幣の銀行券を発行し、紙幣の価値が下落した。

◇1879 年、153 行⁽¹⁶⁾ 目の国立銀行の開業で、開業許可打ち切り（⁽¹⁷⁾ 行：銀行の単位）

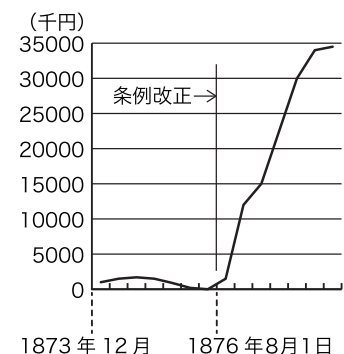


図11 銀行券の流通量